



10年間で収集したというオーナーのフェラーリコレクション。年月とともに増えてきたアイテムを1つの空間にまとめ、それらを生活の中で常に眺められる家が欲しいと、新居を構えることを決められました。家を建てるのはこれで4棟目という、家づくりに関しても多くのこだわりを持つオーナー。今までにはないアールを取り入れた住まいで、愛するコレクションに囲まれた生活を愉しまれています。

左/階段と上部の回廊との組み合わせで構成されたギャラリーは全ての空間を繋ぐコアとなり、コレクションをあらゆる角度から鑑賞できる。下/純和で造り込まれた空間に切られた地窓を開放すると愛車を眺めるビューポイントとなる。最下/閑静な住宅街の角地にシンボリックなボリュームを持たせながらピュアホワイトの曲面で覆われた外装。重厚感のある門扉がミュージアムへの導きとなる。



イタリアンレッドに魅せられて コレクションギャラリーを回遊する邸宅

白亜の殿堂にひとときわ目を引く「赤い跳馬」
フェラーリを心から愛するオーナー。その想いをギャラリーに実現した。
鮮烈な赤を際立たせるためにピュアホワイトの内装とし
瀟洒な手摺に縁取られた回廊がラグジュアリーな空間を創りだす。



上/開放的なプライベートスペースが広がる、2階リビングルーム。視線を階下に移すとイタリアンレッドのギャラリー空間へ繋がる。左/エンツォ・フェラーリ3分の1スケールのエンジンモデル。芸術的な輝きでインテリアを彩る。右下/ガラスで仕切られたガレージは、オーナーの愛車チャレンジストラダレを飾るショーケースとして機能する。ガレージ後部の装飾された扉を開けると室内から外へ繋がり、普段からドライブを楽しまれている。左下/中2階に位置する主寝室からも異なる角度でコレクションを眺められる。左頁/曲面の開口部から光が差し込みピュアホワイトの空間を美しく演出する。

